

謹賀新年



発行
天理教本愛大教会

〒453-0821
名古屋市中村区大宮町 1-60
TEL (052) 461-4326
FAX (052) 461-4320
〒632-0071
奈良県天理市田井庄町 19-1
TEL (0743) 62-0378
編集責任 広報部

春季大祭執行

1月13日
午前10時

本愛大教会

立教184年

立教184年 年頭あいさつ

本愛大教会長 安藤 正治

新年明けましておめでとうございます。

昨年はそれぞれの立場の上でお力添えを頂きまして、誠に有難うございました。

昨年は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で大変な一年でありました。皆様方にもさまざまなお苦労があったことだろうと拝察いたします。今年は何としてでも私たちの誠真実の発揮を通して、親神様に終息の御守護を頂きたいと願っております。

さて、いよいよ本年は六代会長就任奉告祭の年です。本愛にとってエポックメイキングの旬ときであります。未来の本愛の発展を目指して一人ひとりが悔いのないようおたすけに励んで、しっかりと親神様にお受け取りいただきたいと思えます。本年も何卒よろしくお願い申し上げます。

信仰を振り返り成人目指す

女子青年こかん様に続く会

本愛女子青年は11月22日、「第41回こかん様に続く会」を大教会で開催。約20人の女子青年が参加した。

これは、主に25歳までの若い女性層が信仰を振り返り、さらなる成人を目指す場として例年開催されているもの。

長は、教祖のお言葉を素直に実行されたこかん様の半生を振り返った上で、教えを学び、素直に実行することの大切さを分かりやすく話した。

今年は、クイズやウォークラリーなどを通して教えを学ぶ機会が設けられたほか、委員らが事前にこかん様の足跡を振り返る動画を作成し、視聴した上で練習合いを行うなど、心の成人につながるプログラムも行われた。



こかん様に続く会では、さまざまなプログラムが用意された

よぶき会 団参実施

よぶき会は11月22日、各布教所につながるようばく・信者を対象に団参を実施し、約70人が参加した。当日は、感染拡大のリス

クを減らすため観光バスなどは運行せず、各布教所ごとにそれぞれ自家用車でおぢばへ参集。正午に東礼拝場でそろっておつとめを勤めた後、詰所へ移動し「おはなし会」に参加した。

おはなし会では、安藤吉人・正二郎の両氏が登壇。講話の一部は本愛大教会のYouTubeでも公開している。



よぶき会は親里集合・解散の「団参」を実施。約70人が参集した

「日帰りひのきしん隊」 延べ11人が参加

青年会

青年会本愛分会では、11月20、21の両日、おぢばで開催された「特別ひのきしん隊」に参加。委員をはじめ会員が親里で伏せ込みの汗を流した。

これは、新型コロナウイルスの影響で現在受け入れを中止している「おやさ



本愛分会から2日間で延べ11人が「日帰りひのきしん隊」に参加した

ふしん青年会ひのきしん隊」に代わるものとして、青年会本部が行っているもの。本来入隊する予定だった各分会を対象として、1日限りの「日帰り」で隊員を受け入れている。本愛分会では、両日を例会日として隊員を募集。計2日間で委員など延べ11人が参加した。ひのきしん内容は旧本芝詰所の解体作業や100母屋東側の畑での農作業など。午前9時から午後4時までの限られた時間ではあるものの、参加した隊員らは、おぢばでの伏せ込みに報恩感謝の汗を流した。

1月のこよみ

元日祭

1日 午前5時

よぶき会初例会

2日 午前10時

教会長年頭連絡会

12日 午後1時30分

春季大祭

13日 午前10時

青年会初例会

13日 午前10時

布教実修所

14日 午前10時

おはなし会

14日 午後1時

むつみ会初例会

15日 午前10時

こども食堂MOG U

17日 午後5時

ほんあいOKEIKO

18日 午後4時30分

婦人会初例会

20日 午前10時

本部春季大祭

26日 午前11時30分

婦人会創立記念の日

28日

教理随想



言わん言えんの理を探る

「二つ一つが天の理」という教理は、世界のあらゆる物質や現象、また人間の身体や人生において、抛り所とするべき教えです。これを家族に当てはめてみるとどう悟れるでしょうか。

まず夫婦。一組の男女が夫婦として尊重し合い、たすけ合うことによって火水の調和のとれた家庭ができます。そこに生まれ育つ子供は、心身共にバランスのとれた大人に成長してくでしよう。父と母それぞれ心が一つに融合し、そこからあふれ出る愛情は、

子供の成長にとって最も肝要な要因であります。十全の守護に教えられる

くにとこたちのみこととをもちりのみことのご守護は人間創造の時の中心的な役割で、水と火のバランスを保つことの大切さと同時に、父親と母親それぞれの心の持ち方の基本が示されており、このことから「二つ一つ」、すなわち夫婦のバランスの大切さを悟ることができます。

次に親子。一口に親子といってもさまざまな関係や形態がありますが、子供の一人の人間を、親と子という二つの立場から考えてみる姿勢が肝要です。人間は誰一人として親か

ら生まれたい人はいません。今、健在かどうかは別にして親のない人はいないのですから、自分が子供としてどれだけ親を喜ばせ、親の心に応える働きをしてきたか。その上で足りないところがあるならば、今元気でいる親、あるいは既に祖霊みたまとなられた親に喜びと安心を与えられるように道を歩む。これが人として大切な道筋の一つです。

一方、子供をもつ親としての道はどうあるべきでしょうか。まず肝心なことは子供との信頼関係を築き、それを親子間のパイプとして、愛情をたっぷり注ぐことではないかと思えます。もちろん愛情を注ぐとは、物やお金をたくさん与

えることではありません。乳幼児の時は肌と肌を合わせてしっかり抱きしめ、その後は成長に応じて、言葉と態度と行いで子供の心に安心を与えること。その上に分かりやすく人の道を説き、善悪の区別を教え、さらには親神様のご守護によって生かされている喜びを語り合う。こうした地道な努力を続けることで、親の愛情と信仰の喜びが伝わっていくのであります。

子供として親への孝行の心と、親として子供に注ぐ愛情。この二つが一つに溶け合う時、親子団欒の喜びが醸し出されます。

■信仰とは「力」

とはいえ夫婦でも親子でも、常に「二つ一つ」のバランスを崩さずに日々を過ごすことは容易ではありません。誰でも感情の起伏があり、それによってバランスが崩れることも少なからず

いでしよう。そんな時、自分の心が一時の感情や人間思案に流されないための支えとなるのが信仰であります。信仰とは、ただ祈ったり拝んだりご利益を願うことではありません。ましてや教理で相手を責めたりするなどはもつての他です。

信仰とは、自分の心が教祖の教えから外れそうになったり、人間思案や我欲に流されそうになった時にしっかりと支えてくれる力。これが本物の信仰の心です。教祖は、私たちが信仰の心を養うための手本として、五十年に及ぶひながたの道をお示しくださいました。そして悪いんねんで倒れぬよう守ってくださいのが存命の教祖であります。さあ、まもなく会長就任奉告祭という大切な旬の到来です。「二つ一つが天の理」を規範として、しっかりと本物の信仰心を培っていきましよう。

【第 73 回】 夫婦として、親子として 天の理に沿う生き方を

11月の中席者数
(12月20日提出分まで)

本心 2 本桑名 3
以上5名

11月の初席者

直轄 鈴木 教眞
本名 品田 翔生
本宏(本宏津) 伊藤 厚一
本心(本心徳)

MAGTA VIRGILIA TULABING
本則武 高橋くるみ
本海部 中森登美子
本正義(本八雲) 丸井 亮人
本清明 東瀬陽太郎
本愛岳 猪又 光貴
" 横内美咲子
" 小林かの子
" 小林かす美
以上12名

総会開催

婦人会本枇杷島委員部(青木奈美子委員長)では、11月29日午前11時より、安藤くみ子・本愛支部長を迎えて、同分教会において「第

22回婦人会総会」を開催した。

本煥分教会三代会長

種田照正之霊の十年祭

本煥分教会三代会長夫人

種田富美之霊の二十年祭

本煥分教会では11月15日

午前11時より、三代会長・種田照正之霊の十年祭、並びに三代会長夫人・種田富美之霊の二十年祭が同分教会で行われた。

本聴分教会三代会長

東保之霊の三十年祭

本聴分教会では11月22日

午前11時より、三代会長・東保之霊の三十年祭が、山神茂彦役員を祭主として同分教会で行われた。

本土佐分教会二代会長

佐藤日出男之霊の五年祭

本土佐分教会では11月29

日午前10時半より、二代會長・佐藤日出男之霊の五年祭が同分教会で行われた。

お出直し

相原とし子氏(本徳分教会五代会長)

12月7日に出直された。

享年92歳。告別式は12月9日午前10時より、世話人・佐藤正成役員を齋主として執り行われた。

本愛大教会 公式ホームページ開設!



https://hon-ai.org

大教会からのお知らせ
沿革、大教会へのアクセス
本愛誌バックナンバーのダウンロード

大教会日誌

令和2年11月25日~令和2年12月24日

11月

26日 本部月次祭

30日 常任役員会議◇役員会議

12月

1日 入社祭

祭主・大教会長 扨者・田中新一、山神茂彦
指図方・板山公司 賛者・伊藤寿輝、山本治行

◇おたすけ講話—石井富男

◇教会長連絡会

2日 よふき会例会

おつとめ・十二下りてをどり

12日 常任役員会議

13日 月次祭

祭主・大教会長 扨者・桑子保、加藤成幸
指図方・板山公司 賛者・長尾誠、安井篤

◇祭典講話—野田正道

◇大教会長挨拶

14日 布教実修所

ほんあいOKEIKO

15日 おはなし会

16日 むつみ会例会

17日 こども食堂MOGU (参加者 58人)

20日 婦人会例会

こはる会例会